

アジアの映画まつり 2011

9/10(土)

富田林市立

会場：金剛公民館

私の底に、もう一人の
私が眠っている

海辺でヴァカンスを過ごしていた男女が、1人の女性の失踪をきっかけに様々な感情にさいなまれ、やがて驚きの真実を知るまでを描く心理サスペンス。監督は、本作が日本初公開となるアスガー・ファルハディ。出演は「ワールド・オブ・ライズ」のゴルシフテ・ファラハニー。

(C) 2009 Simaye Mehr.

◆彼女が消えた浜辺

2009年/イラン/監督・脚本：アスガー・ファルハディ/116分
第59回ベルリン国際映画祭最優秀監督賞(銀熊賞)受賞

◆ソウルのバングラデシュ人

2009年/韓国/監督：シン・ドンイル/107分
第10回全州国際映画祭(2009)「観客評論家賞」受賞

※映画解説・・・岸野令子さん(映画パブリシスト)

17歳の少女と29歳の移住労働者との
とびっきりな交際！

＜ソウルのバングラデシュ人＞は今の韓国社会に影を投じる不自由で深い真実に大して「NO」と一喝することのできる映画だ。

階級間の壁があまりにも高くなったこの社会に、性別や国籍、皮膚の色の違いの前に「心を開け！」と真を叫ぶ映画。意思の疎通を欠くこの時代に何が世の中を変えられるのかを単刀直入に問い掛ける問題作。

入場無料・申込不要
直接会場へお越しください

(上映開始時間は裏面)

(C) キノアイジャパン

アジアの映画まつり 2011



『ソウルの バングラデシュ人』

2009年／韓国／監督：シン・ドンイル／107分
全州国際映画祭(2009)観客評論家賞受賞

母親は恋人の世話で忙しく、友だちは塾通いで忙しい。いつも一人ぼっちのミンソ(ペク・ジニ)は、誰より自立心の強いしっかり者で17歳の女子高生。夏休みに入って、ネイティブ英語塾に通おうと様々なアルバイトを始めるが、資金は思うように貯まらない。そんなある日、財布を拾って知らん顔していたところ、持ち主に見つかってしまう。その持ち主とは、バングラデシュ出身の出稼ぎ労働者、29歳のカリム(マブブ・アラム)だった。

10日(土)

9/10(土)

会場：富田林市立
金剛公民館

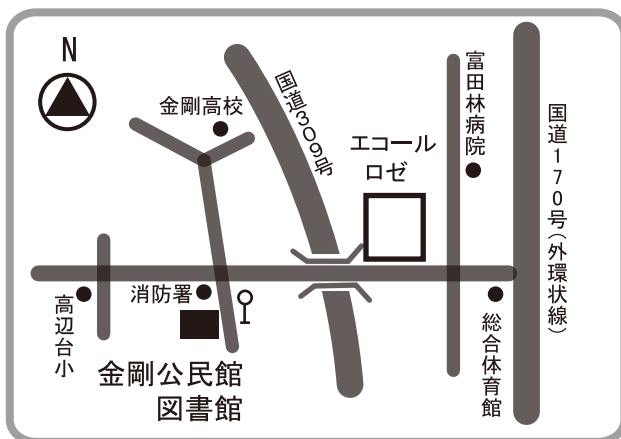
時間	内容
13:00～13:30	解説：岸野令子(映画パブリシスト)
13:30～15:17	『ソウルのバングラデシュ人』
15:30～17:26	『彼女が消えた浜辺』

『彼女が消えた浜辺』

2009年／イラン／監督：アスガー・アルファディ／116分
第59回ベルリン国際映画祭最優秀監督賞(銀熊賞)受賞

入場無料・申込不要
直接会場へお越しください

主催：富田林市立金剛公民館
協力：(特活)とんだばやし国際交流協会



- ◆富田林駅より近鉄バス「金剛東団地行き」または金剛駅より南海バス②番乗り場「津々山台1丁目」バス停前
 - ◆レインボーバスも「金剛公民館・図書館前」で停車します。
- ※お車でのご来館はご遠慮ください。

その突然の出来事は、あまりにも奇妙で謎めいていた。ささやかな週末旅行を楽しもうとテヘランからカスピ海沿岸の避暑地にやってきた大学時代の友人たち。その参加者のひとりであるエリという若い女性が幻のように消えてしまったのだ。滞在中のヴィイラが浜辺にあったため、エリが海で溺れたのではないかとパニックに陥った一行は懸命の捜索を繰り返すが、彼女の姿はどこにもない。もしやエリは、何らかの事件にでも巻き込まれたのか。それとも別れも告げず、ひとりでテヘランに帰ってしまったのか。さまざまな可能性を論じ合う一行は、すぐさま答えの見つからない問題に突きあたる。彼らの親しみを込めてエリという愛称で呼んでいた“消えた女性”の正式な本名さえもわからず、彼女について何ひとつ知らなかったということに…。

